

連携医療機関向け広報誌

# COMPASS

NAGOYA EKISAIKAI HOSPITAL

vol.04

2021 October

あなたらしく生きるために。





あなたらしく生きるために

## 地域医療の連携で

この町に暮らす人びとに寄り添う  
緩和ケアをめざします。

緩和ケア内科部長 緩和医療専門医

小島 美保

緩和ケアは病とともに過ごす患者様とそのご家族のためにある医療、ケアです。名古屋掖済会病院には緩和ケア内科、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟があり、外来でも入院でも身体や心の症状をやわらげ、患者様が「あなたらしく生きる」ための医療を提供しています。

### 早期からの緩和ケアを 地域ぐるみで

「緩和ケア」は手術、放射線治療、化学療法とあわせがんの4つの標準治療とされています。名古屋掖済会病院では、病とともに生きていくための治療の一つとして患者様に寄り添う緩和ケアの提供をめざしています。

たとえ病に罹ったとしても、その患者様の人生は続いていきます。体調や生活に困難な状況をもたらすこともありますが、そうした状況下でも

「あなたがあなたらしく生きていく」ためにはどうしたらよいか、患者様の「我慢」を少しでも取り除くためになにができるか。その共通認識のもとで地域のクリニックの先生方と当院が連携し、情報を共有しながら患者様を支えていきたいと考えております。

とりわけ、がん治療においては長期間にわたる治療が可能となり、延命効果が高まっています。それゆえに、がんと診断された時から患者様からの緩和ケアに対する期待が高まっています。

皆様もご存知のとおり、厚生労働省も「がんと診断された時からの緩和ケアの推進」を重点的に取り組むべき課題に位置付けています。地域の医療従事者が手を携えることで患者様とご家族がその人らしさを失うことなく療養生活を続けられる。名古屋掖済会病院は、地域ぐるみでより充実した緩和ケアの体制の確立をめざしています。

## 患者様の

「困ったな」に応える  
緩和ケアを提供する



# 「あなたらしく生きるため」の 緩和ケアを推進しよう。

## 緩和ケアに対する 意識改革こそ急務

世の中では「緩和ケア」という言葉が終末期医療を連想させてしまうようです。また、緩和ケア病棟に入院すると「帰つて来られない」とのイメージを持つ方も多いようです。しかし、実際にはそこから退院されて、再び自分らしい人生を歩み出される方がたくさんおられること、通院しながらの緩和ケアがあることを一人でも多くの患者様に知つていただきたいと思います。

がんなどの診断を受けた際に早い段階から緩和ケアに触れることで、苦痛が改善されていたかもしれないのに、患者様の誤ったイメージによつて利用の機会が奪われているのだとしても、残念なことです。

緩和ケアに対する正しい知識と意識の普及についても、私たち医療従事者が必要すべきことが山積しています。

高齢化が進む時代のなかで誰もがその点においても、地域医療に携わっているクリニックの先生方のお力をぜひお借りしたいと思います。

不可欠です。名古屋掖済会病院は、「緩和ケア」をひとつのキーワードに掲げ、地域医療の充実に貢献してまいります。

## MESSAGE

### 緩和ケア担当医師からのメッセージ

#### 「あなたらしく生きる」を支えたい

名古屋掖済会病院に赴任して4年が経過しました。緩和ケアに携わる前は、放射線科専門医として主に画像診断に従事していました。がん検診から、診断、治療など、幅広いがん診療にかかる中で、多くの患者さまと出会いました。がんと診断されてからも日常生活を歩いていくその姿勢、その中で人が生きる事の意味など様々な事を教えて頂きました。診断から治療、そして終末期までの患者様を診察させていただく中で、生きることを支える事は、病をみるとことだけではなく、病気に向き合う患者自身を支える医療も大切ではないかと考えるようになります。

画像診断医だからこそ、患者様の症状の原因を画像からひもとくことは得意です。その上で緩和医療専門医として患者様の希望にそつた薬剤調整を行ふことで、日常を取り戻すためになにが必要かを考えます。症状とうまくつきあうことができるようになることで気力も体力も回復し、がん治療に取り組む意欲がわくのです。

病になつてもあなたはあなた、あなたの大切なひとにもかわつていなさい、だからこそその方らしく生きることを支えたい、心からそう願います。

緩和ケア医として大切にしていることがあります。それは患者様、そのご家族との率直なコミュニケーションです。病と共に過ごすとき、多岐にわたる不安が生じます。すべての不安が私達の診療によって解決するわけではありません。しかし「あなたのそばにいます」「一緒に考えて生きていきましょう」という姿勢で緩和ケアの現場に立ち続けていきたいと考えております。

小島 美保

緩和ケアは特別な医療ではありません。日々患者様と向き合われている皆様も真摯に取り組んでおられることがあります。それを誠実に実践していくためには、膨大な時間と労力が必要となり、医療とは別の分野からのサポートが求められることがあります。それらのサポートを地域の医療従事者が分かち合うことで、患者様とそのご家族を主人公とした地域医療体制を充実させることができます。

病と診断されたことで、困惑や不安を感じ、その悩みが長く続いている、あるいは長く続きそุดと懸念される患者様はいらっしゃいませんか?名古屋掖済会病院には、緩和ケアを専門的に提供する部門があります。患者様が「困ったな、辛いな」と感じた時には緩和ケアという選択肢があることをお伝えください。苦痛や不安の原因は必ずしも医療ばかりではなく、生活

支援や就労にまつわるものである場合も多々あります。当院ではより広範囲の対応ができるよう、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、管理栄養士、理学療法士など専門職との協働による緩和ケアを提供しています。

当院の緩和ケア外来では、各診療科各部門とともに診療させていただいております。がんの患者様が中心ですが、時には難治性の痛みなどについても相談をいただくことがあります。診察の際には患者様やご家族がゆつたりとお話を聞いていただけるよう配慮をして紹介元の先生方との情報共有もきめ細かに行っております。

患者様の思いを大切にし、病気だけでなくその人の生活や人生と向き合う。患者様が大切になさつていることを尊重しつつ、病気との付き合い方を一緒に考える。そうした姿勢が緩和ケアには欠かせません。心理精神的ケアも含めた幅広い支援を行いつつ、病状をしっかりと把握し、適切な診断を行う。私たちは、これらを同時進行させることによって患者様の苦痛と不安の払拭を実践しております。





## 緩和ケアチーム

緩和ケア医師、緩和ケア担当看護師、薬剤師、管理栄養士及びソーシャルワーカーなど多職種で構成する緩和ケアチームが、患者さんの抱える様々なつらさを主治医や担当看護師と協同で緩和することを目的に活動しています。一般病棟に入院中の患者さん、ご家族の方が対象となります。がんと診断されたとき、がん治療中、治療が一段落したとき、いずれの時期にも多職種で支援させていただいている。



## 緩和ケア病棟



がんにともなうつらい症状を緩和させ、患者さんが自宅や施設にもどって、充実した時間を過ごせるように力を注いでいます。大切なことはその人がどう生きたいか、そのためになにが必要であるかを知り、それを実現することです。入院したときから患者さんや家族の今後の希望を詳しく聞き取り、多職種で力をあわせ希望に沿う生き方を支援させていただきます（緩和ケア病棟の入院費用は一般病棟と同じく健康保険が適用されます。病院食も一般病棟と同じ自己負担です。高額療養費支給制度の対象にもなります。保険外負担としては有料個室料金（3室：5,500円／日）などが別途徴収となります）。

## 緩和ケア外来

がん患者さんの身体的精神的な苦痛をやわらげるための専門外来です。治療の担当医と連携して、がんの治療をおこないながら、体と心の痛みやつらさをやわらげるための診療やケアをおこないます。緩和ケアというと最後の医療のイメージがあると思いますが、そうではありません。がん治療の進歩により長く延命できる患者が多くなっています。がんの治療が一段落した後にも、痛みやだるさなどの不調が残ったり、体調や今後の病状などに不安を抱えたりすることもあります。だからこそ、がんと診断されたときから、社会や家庭でその人らしく生活するためになにが重要かを共に考え、治療に向かうための気力や体力を整える事こそ緩和ケアの役割と考えます。

在宅で穏やかにすごすために地域医療機関、訪問診療、訪問看護などのスタッフと連携させていただき、患者さんが安心して療養していただけるよう、支援していきます。当院へ通院中の方だけでなく、他院へ通院中の方でも受診可能です。がんの治療をおこなっている主治医に「名古屋掖済会病院の緩和ケア外来を受診希望」とお伝えいただき、受診についてご相談ください。

患者さんだけでなく、ご家族の心身の負担を軽くするためのケアや支援もおこなっています。あなたらしく生きるための緩和ケアを皆様とともに拡げていきたいと思います。

■名 称	名古屋掖済会病院	■診療科 (全36科)
■管理者	院長 河野 弘	内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、精神科、外科、消化器外科、肛門外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科・手外科、リウマチ科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、緩和ケア内科、腫瘍内科、健康管理科、産業保健科
■病床数	602床	



〒454-8502 名古屋市中川区松年町4-66  
 代 表 TEL<052>652-7711 FAX<052>652-7783  
 医療連携 TEL<052>652-7954 FAX<052>652-4774  
<http://www.nagoya-ekisaikaihosp.jp>



WEB